

県都の顔、そして歴史と文化の息吹を感じるまち「順化」

順化公民館

1 順化地区の概要

順化地区は福井市中心部に位置し、福井駅、県庁・市役所などの官公庁や企業等のオフィスが立ち並び、商店街やホテル、デパート、繁華街などがある。また、2023年(予定)の北陸新幹線延伸が待たれる中、順化地区でもある福井駅周辺では「県都の顔」として様々な再開発が進められている。

歴史的には福井藩初代藩主で福井城を築いた結城秀康や戦国武将で北ノ庄城を築いた柴田勝家ら、後世に名を残す人物にゆかりのある地区である。昨今、柴田神社の整備の他、福井城址の御廊下橋や山里口御門などが復元され、グリフィス記念館の建設、浜町の整備、福井市中央公園再整備など、地域の歴史を残す事業が行われている。

かつては、順化地区に住みそこで働く住民が多数であったが、近年は、居住地や商業施設を郊外に移すなど、ドーナツ化現象の空洞部分となってきた。地区内には駐車場や分譲マンションが増え、隣近所の付き合いや連帯意識の絆が薄れつつある。

こうした中、まちの伝統と人情の美しさを守ろうと、町内会組織や社会教育団体では、公民館を拠点として連携し、独自の地域づくりの活動を行い成果をあげている。例えば、春には、石垣と水を湛える堀が残る福井城や桜並木が美しい足羽川沿いの浜町で、ライトアップなどを行い、人々が夜景に映える桜の美しさを楽しむ場をつくっている。その他、中心市街地、県都の顔としての様々なまちづくりの活動が行われ、今まで以上に賑わいを見せ、観光客の増加にもつながっている。

平成30年5月1日現在、人口は3,587人、世帯数は1,693戸である。

2 地域活性化と安全・安心なまちづくり

(1) 鎮魂とまちづくり

「福井城址お堀の灯りライトアップ事業」

福井城址およびその周辺で毎年7月に開催しており、平成29年度で8回目となる。この年のテーマは、

「次世代に語り継ぐ不死鳥の願い」で、お堀の水面に約2,000個、地上の灯りを含めると6,800個の美しい揺らめきを、手作りの灯籠などで醸し出した。

これは、築城以来の往時を偲びつつ、空襲や震災などの火災から逃れようとお堀に飛び込み亡くなった人々の鎮魂のために行っている。あわせて、足羽山西墓地からお堀沿いに移転した「順化万霊供養塔」での法要や、空襲・震災を語り継ぐ活動も行っていて、福井城址付近では1日を通して犠牲者を悼む日となっている。

実施に当たっては、順化地区のまちづくりに関わる団体で実行委員会を構成し、市民ぐるみで新たな福井のまちづくりを推進する活動の1つと位置づけている。最近では、順化小学校、こども園など30を超す団体からの協力を得ている。また多数の地区の住民が公民館に集まり、水面に浮かべる灯籠の作成などの準備を行っている。

(2) 防災の進んだ地区に

「ドローンを活用した自主防災」

市中心街の順化地区はビルが多く、大地震などが起こった際には倒壊の恐れもある。そこで、順化地区自主防災連絡協議会では、危険箇所の確認、避難経路の設定、災害状況の確認を空から担う

「ドローン部隊」を発足させた。地区の自主防災会の実行委員が中心となり始まったが、



【お堀に浮かぶ鎮魂の手作り灯籠】



【防災ドローンの活用訓練】

公民館でも平成 29 年度から地域課題として「防災」を設定し、教育事業の IT 講座の中でドローンの操作等を学ぶ機会を設け活動の広がりを支援している。

3 特色ある教育事業（郷土学習）

中心市街地活性化の事業などで、地区にある通称・浜町通りやグリフィス記念館、能楽堂、福井城址など、歴史的な文化施設等が整備されてきている。

そこで公民館では、このような歴史ある文化施設を活用して和 문화体験を行い、体験的に地区の歴史を学ぶ講座を企画した。

(1) 「浜町風情」を体験し地域の誇りを伝えよう！

「グリフィス記念館で三味線体験」



浜町は古くからの料亭街で、三味線や鼓、長唄などの音曲が風情を醸し出す街である。そこに、グリフィス記念館が完成し

た。そこで、同館に親しみをもつとともに、浜町で三味線を弾くことで「浜町風情」に触れてもらおうと、この講座を企画した。当日は、長唄を鑑賞した後、三味線を持って練習した。参加者からは、「西洋式の建物に和の音が思った以上にマッチし感動した」などの感想が寄せられた。

このような講座を通して、人情味があり華やかな高級料亭街としての「浜町風情」が、地区の人々の心の中に残っていくことを願っている。

(2) 地域の文化施設に親しもう！

「ハピリンの能舞台見学と能楽体験」

ハピリンの中に福井市の能楽堂が完成し、順化地区は「能楽堂のあるまち」になった。そこで、能を身近に感じてもらえる



よう「バックステージ×能楽ワークショップ」という体験講座を企画した。「そもそも能とは・・・」から始まり、「謡」「お囃子」「仕舞」の体験をし、普段

は入ることのできない能舞台の裏側も見学した。参加者からは、能への興味が高まり、「能面や衣装を見たい」や「謡を習いたい」などの声が聞かれ、地区の人々が新たな文化との出会う機会になった。

(3) 福井城の魅力を発見しよう！

「城好き高校生と福井城址めぐり」

全国の城の魅力を発信している福井の「城好き高校生」と、順化公民館が連携し、福井城址を巡るイベントを企画した。こ



この高校生が各地の城のことを学ぶうちに、福井は他県に比べて城を活用したまちづくりの取組が遅れているように感じたことがきっかけで、この日福井城のガイドとしてデビューした。当日参加した順化地区の住民にとっては、たくさんの写真や資料をもとに、実際に歩きながら福井城のすばらしさを学ぶすてきな機会となり、「若い人が興味のあることを掘り下げていることがすごい」などの声も聞かれた。

これからも、城の基礎知識を学ぶ講座などを開催することで、福井の魅力の発信につながると考える。

4 終わりに

順化地区は、ドーナツ化現象により人口・世帯数の減少や少子・高齢化が進み、地区の活性化が緊急の課題となっている。また住民相互の「絆」が希薄化し、地域コミュニティも弱体化しつつある。

そこで順化公民館では、地域の生涯学習やコミュニティ活動の拠点として、各関係機関や団体と連携を深めながら、地区の特色を生かしたまちづくりをめざす教育事業や各種事業をさらに活性化させることで、地区住民の生涯学習の推進や地域コミュニティの形成に貢献していきたい。

福井城、福井駅などを中心に、福井県・福井市の顔として発展してきた順化地区。歴史や文化を守り引き継ぎながら、地区をあげて、未来に向けてのまちづくりに取り組んでおられます。これからも、順化公民館を中心に、様々な活動を通して人と人がつながり、古きものと新しいものがミックスされた人情溢れる地区として発展されますことを祈念します。